

教育委員会11月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和5年 11月 1日(水) 午後3時から午後4時まで
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員
- | | | |
|--------|-----|-----|
| 教 育 長 | 丸 山 | 陽 一 |
| 同職務代理者 | 近 藤 | 守 |
| 委 員 | 塚 田 | まゆり |
| 委 員 | 茅 野 | 理 恵 |
| 委 員 | 鷲 澤 | 幸 一 |
- 4 説明のために会議に出席した者
- | | | |
|-----------------------|-----|-----|
| 教 育 次 長 | 藤 澤 | 勝 彦 |
| 教 育 次 長 | 勝 野 | 学 |
| 教育次長副任兼
学校教育課長 | 前 島 | 卓 |
| 教育次長副任兼
家庭・地域学びの課長 | 野 池 | 達 朗 |
| 総 務 課 長 | 北 島 | 克 彦 |
| 保健給食課長 | 山 口 | 恭 司 |
| 文化財課長 | 石 坂 | 陽 子 |
| 学校支援官 | 酒 井 | 好 和 |
| 総務課長補佐 | 穂 川 | さゆり |
- 5 書 記
- | | | |
|-----------------|-----|-----|
| 総 務 課
庶務担当係長 | 児 島 | 真 季 |
|-----------------|-----|-----|

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

今日から11月に入り、早いもので今年も残すところあと2か月となった。日がめっきり短くなり、周りの山々の紅葉を見ると、秋の深まりを感じる。日が短くなったということで、11月、12月の日没前後は、帰宅時刻と重なり、1年間で最も交通事故のリスクが高い時期ということである。実際に警察庁が発表している小学生の歩行中の交通事故のデータによると、一番多いのが5月、次いで12月、11月、1月と続くので、これからの冬の時期が特に警戒すべき時期と言われている。また、事故が多い時間帯は下校や遊びのために外出した時とのことである。交通事故から大切な命を守るためにも、子どもたちには交通安全教育をしっかりと行っていきたい。新聞にも出ていたが、長野県は、信号機のない横断歩道で車が止まってくれる率が8年連続で全国1位ということである。我々運転する側も思いやりを持って、子どもたちの安全をサポートしていきたいと思っているところである。

委員の皆様には、先月27日に松本市で開催された第66回長野県市町村教育委員会研修総会に御参加いただき、感謝申し上げます。4年ぶりの全員参集方式での開催ということで、大変盛会だったと聞いている。また、翌28日には、市主催の学校以外の子どもの居場所について考える「ながの育ちと学びの場フォーラム講演会」が信州大学教育学部を会場に行われた。茅野委員には開催に当たり御協力いただき、また、塚田委員にも御参加いただき感謝申し上げます。当日は約170人の参加があり、講師には「川崎市子ども夢パーク」を運営するNPO法人の理事長西野氏をお迎えし、子どもが安心して学べる居場所づくりについてお話しいただいた。お話の中では、我々が準備しているSaSaLANDの開設に係る助言もいただいたところである。参加者には、不登校のお子さんがいらっしゃる保護者の皆様も多く、多くの感想が寄せられた。「まずは大人が変わることが大事だと考えさせられた。」などと好評をいただくとともに、準備を進めているSaSaLANDに対する期待の大きさを感じた次第である。今回いただいた感想や御意見、御提案については、今後の取組の参考とさせていただきたいと思っている。

<協議事項>

協議1号「長野市立学校職員服務規程の一部改正について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島教育次長副任兼学校教育課長が説明した。

- ・教職員の時間外勤務の事前命令等に関する規定を整備するため、県が定めている学校職員服務規程の準則が改定されたことに伴い、改正するもの
- ・改正は、令和4年度に文部科学省が実施した「教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査」により、依然として長時間勤務の職員が多いこと、自治体と学校間で働き方改革に関する取組状況の差が見られたことを受けたもの

協議2号「長野市立学校職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島教育次長副任兼学校教育課長が説明した。

- ・教職員の定年引上げに関する規定を整備するため、県が定める学校職員の勤務時間等に関する規程の準則が改正されたことに伴い、改正するもの

協議3号「長野市立鬼無里中学校及び長野市立清野小学校の閉校について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島教育次長副任兼学校教育課長が説明した。

委員 少子化時代における学校の在り方について、地域や保護者の皆様に対し、将来の子どものことを考えて決定していただいたことに敬意を表する。清野小学校については、松代地区全体のことをどう考えるのか、地域ごと、あるいは学校間の連携も図っていかないと難しいのではないかと思いますので、お願いしたいところである。

前島教育次長副任兼学校教育課長

松代地区の協議に参加させていただいたが、清野小学校のことを契機に、松代地区全体のことを考えたいという意見も一部出てきているが、まだ他の学校の保護者からは、そういった意見が出てきていないため、住民自治協議会として、統合・閉校についての話をしていくのには抵抗があるということである。地区では、性急に着手するというのではなく、今後、各学校においてそういった話が出てきた際には、相談に乗るという結論になったようである。そうした話が出たら、市教育委員会として、しっかりと検討し、対応していきたいと考えている。

丸山教育長

地区の皆様が要望書を持って来庁された際にも申し上げたが、新たな学びの場への移行については、子どものことを第一に考え、スムーズに丁寧に対応していきたい。

協議 4 号「令和 6 年度長野市立長野高等学校募集定員について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島教育次長副任兼学校教育課長が説明した。

- ・募集定員はこれまでと変更なく、県教育委員会にも確認済みである。
- ・県立高校の募集定員の発表は、11月21日の県教育委員会定例会で決定されるということであり、県の公表は11月21日以降となる予定である。

委員 県の発表を待ってから公表するのか。

前島教育次長副任兼学校教育課長

本日、承認いただければ先に公表する予定である。県の公表には、市立長野高等学校も含まれたものとなる。

協議 5 号「長野市文化財保存活用地域計画（案）について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

石坂文化財課長が説明した。

丸山教育長

文化庁の協議とは、具体的にどういったことが行われたのか。

前島教育次長副任兼学校教育課長

市で決定したものを事前に内容をチェックしていただき、認定申請がスムーズに行えるようにするための協議である。

委員 長野らしさをどう出すかが難しい。今まで苦労して文化財を発掘、調査していただいた方々に意見を聴くなど、膨大な資料中から長野らしさを、どう選んで取り出していくかが大事になってくる。それには、相当の知識が必要になってくる。

石坂文化財課長

長野らしさとして、関連文化財群をまとめているので、それらを重点として進め

ていきたい。

委員 オリンピック関係のことは、文化財には入ってこないのか。「長野らしさ」について、日本での冬季オリンピックの開催は、北海道と長野しかないことから、これからなり得るものではないかとも思う。

石坂文化財課長

長野市の歴史概要に記載している。

委員 文化財として保護はしていないのか。

前島教育次長副任兼学校教育課長

歴史としては新しいものとなる。指定文化財（登録有形文化財建造物）としては50年となっている。冬季オリンピックについては、代表する歴史として、「長野市文化財保存活用地域計画（案）」26ページに記載している。

<一般行政報告>

報告1号「市議会10月臨時会で論議された主な政策課題等について

報告2号「令和5年度教育費補正予算について」

これら2つについて関連のある事柄であるため、丸山教育長が事務局に合わせて説明を求めた。

藤澤教育次長が説明した。

- ・現在、芋井支所は旧芋井中学校の校舎を使用して開設しており、旧芋井支所は解体したその隣接した場所に公民館と支所を統合して総合市民センターを建設し、令和8年度中の開設を目指している。今回、用地の造成の中で、建設場所が坂であることから、直壁にすることとなり、そのためには支持地盤が確保できないことが分かった。その分の増工の労務単価や建築資材が増えたことにより増額したもの

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北島総務課長）

主催事業0件、共催事業1件、後援事業23件（賞状交付0件）

次回以降の日程確認（北島総務課長）

12月定例会 11月29日（水）午後3時 教育委員会室

1月定例会 1月9日（火）午後3時 教育委員会室

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員